

当院では下記の研究を実施しています

記

課題名： 小児ICUにおける気管挿管に関する安全性について

研究の目的・意義

本研究は、フィラデルフィア小児病院を中心に、多国家多施設共同で小児集中治療室・救急室で起こる高度気管確保となった全てのお子さんを対象に気道管理の実態について観察登録を行う研究です。日本（東京都立小児総合医療センター・あいち小児保健医療総合センター）と北米（34施設）と他（4施設：シンガポール、インド、ニュージーランド、ドイツ）が参加し、100万人分の登録を予定しています。気道管理の実態についての情報を収集分析することで、現在行われている気道管理の特性について施設レベルあるいは個人レベルの要因との関連性を定量化することが可能となります。

調査の方法

当センターの小児集中治療室・救急室で起こる高度気管確保を行った全ての患者さんについて、気管挿管後のデータを研究本部のフィラデルフィア小児病院へと報告し、他の施設からの報告と合わせて検討を行います。

➤ 調査項目

患者さんの気管挿管捜査に関連した物品、手技の回数、用いた器具、挿管者の特性など

※ 患者さんの氏名など、本人を容易に特定出来る個人情報には調査対象ではありません。入室日時、気管挿管日時は登録対象ではありますが、厳重に保護され、研究目的で利用される場合には全て月と曜日に変換されているので個人情報は保守されます。

調査実施機関

国立成育医療研究センター、フィラデルフィア小児病院、他

国立成育医療研究センターホームページ（<http://www.ncchd.go.jp/>）に研究の概要を掲載しております。

※ お子さんが調査対象に該当すると思われる方で、解析に加わることを拒否されたい場合は主治医にご連絡ください。